

Title	編集後記
Sub Title	
Author	清水, 唯一朗(Shimizu, Yuichirō)
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2020
Jtitle	Keio SFC journal Vol.20, No.1 (2020.) ,p.335- 335
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 オリパラ サイコウ
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-2001-0335

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

閉塞感を打ち破る一冊ができた。広がるコロナに狭まる人間交際、増えるリモート会議に落ちる体力。倦み事を言い出せばきりがないなかで、いかに力を蓄えて、前に進みだせるかが試される。特集のテーマとするオリンピックが延期となり、発刊の是非について議論となったときに、そう考えた。

人を得たと言っていいだろう。今回の特集担当編集委員である牛山氏は、まさに躬行実践を体現してきた人であり、軸足を保持しながら再考を進め、来年に向けても意義のあるものとしてくれた。その成否は本文を見ていただければ明らかであろう。実践から理論、政策から規範、レガシーからチャレンジまで、実に SFC らしい「オリパラ」が展開されている。担当者の幅広い問題関心と狂おしいまでの熱意の賜物と言っていいだろう。この時にこの人が担当で本当によかった。ありがとう。

チャレンジといえば、今号は湘南藤沢学会が慶應 SFC 学会と改称してから初めて世に送り出す刊行物である。ここに SFC 学がある、などと主張するつもりはない。しかし、SFC という学問のあり方は私たちの信念である。そうした想いに溢れる執行部に若返った今、SFC にとってもサイコウの時が訪れている。

新しい船出に当たって、表紙のデザインも公募に踏み切った。入学したばかりの1年生・丸山剛典君による力の籠ったデザインは、これからの SFC の意気込みを表すようだ。30 年の歴史を越えて、新たな 30 年へのチャレンジがはじまる。その記念の 1 号としたい。

2020 年 7 月 30 日

清水 唯一朗

KEIO SFC JOURNAL 編集長